

やまたらけ

YAMADARAKE

April
No. 46
2011

はやかわ せきぞうがわ 早川の石造物

路傍の石仏と聞いただけで、なにか郷愁を誘う情景が目につかびます。実際にそんな景色を見たことがなくても、何となくどこかにそんな景色がありそうな気がしてきます。ところでその石仏は誰がいつ建てたのか、そんなことが気になった人はいませんか。

早川町にもいろいろなお石造物があります。道祖神や地藏、馬頭観音のようないわゆる石仏、また一見同じような石碑や石塔でも、よく見るとそれぞれに建てた人々の意図や意味が込められています。同じ形をした石祠でもそれぞれ呼び方が違っていたり、お祀りの仕方もいろいろです。

一つ一つの石の呼び方や、それにつわる伝説を集め、置かれた場所の意味を探る(ただし大多数が移設されて今の場所にあるものです)のも大事なことです。そういう喜しのながの生きた姿と石造物自体への注目と、バランスを取るのにはなかなか難しいのですが、今回は、石造物自体が語る声に耳を傾けることにしました。また石造物の紹介というと、ついカタログ的にまとめてしまいがちですが、今回は早川町で範囲を広く取り、どんなものかどういふ風にあつて、そこからどんな歴史が見えてくるかを考えてみました。

(鈴木努)

1 道祖神

どうせじん



早川集落にある天明元年（1781）の双体道祖神。集落では「道ろく神」と呼ばれている。右隣にはお地藏様もある。

今回は、早川町の道祖神祭りの祭日（二月一四日）に合わせて取材に訪れました。町内の道祖神にはヤナギが立ち、注連縄（しめなわ）と御幣（ごへい）が懸けられて、華やかさをまとうていました。ヤナギが遠くから見えるので、道祖神がどこか、すぐに判りました。ヤナギも地区ごとに作り方が違ってきます。今まではドンド焼きも一緒に行われていたようですが、最近では正月飾りをまとめておくだけで、火祭りはしない所がほとんどのようでした。

町内の道祖神は双体、丸石、あるいは基礎石だけになっているものがあります。丸石のものは比較的新しい時代のもので、作られた時期の判るものは二体ありました。一つは双体のもので天

明元年（一七八二）、これが恐らく町内で一番古いものでしょう（写真右上）。もう一つ、基礎だけが残っているものは文化二二年（一八一五）と刻銘されていました。

五箇地区には基礎だけになったものが多いのですが、正面に扇形の額を彫りにするという共通の意匠を持っています。隣の旧中富町（現身延町）にも似たような意匠があり、何か広範な動きがあったように見えます。山梨県では明治二年（一八六九年）に道祖神祭りの騒ぎを弊習として県の命令で禁止し、また明治五年には道祖神廃止令を布告し、その結果甲府などで道祖神祭りが廃絶しています。早川町域がどのくらいその影響を受けたか、はっきりとは分かりませんが、基礎石だけになっている道祖神は本体をこの時に廃棄したか、どこかに埋めて隠したまま忘れられたのかも知れません。



各集落の双体道祖神：左から茂倉集落、京ヶ島集落、小縄集落。小縄の道祖神は彫りが特徴的。



黒桂集落のヤナギ。火の見櫓の下に道祖神が祀られている。



丸石の道祖神（早川集落）

新倉集落のヤナギ



左から粟袋集落。塩之上集落、樽坪集落の道祖神。いずれも基礎石のみ。樽坪の基礎石には、文化12年（1815）の銘文が残る。





大島集落の庚申塔。三猿がしっかりと残っている。(拡大写真) その上には「庚申」の字も見える。



石塔型の庚申塔。左から保集落、笹走集落のもの。保の庚申塔は、基礎に三猿が刻まれている。笹走の庚申塔は、「帝釈天王」と刻まれている。青面金剛は帝釈天の使者といわれ、特に日蓮宗では帝釈天を庚申塔の主尊にすることがよくある。



青面金剛像の刻まれている庚申塔。左から京ヶ島集落、草塩集落、新倉集落のもの。京ヶ島の庚申塔は、青面金剛像の下に三猿が見える。

庚申待は、三戸の虫が体から出て天帝に告げ口に行かないように、一晩中寝ずに過ごし日の出を待つという庚辰の日の民俗行事です。庚申塔はその記念碑です。いま早川町で庚申待に関する行事を尋ねても、憶えていないという方がほとんどですが、町内を廻ると、意外にも各地区に一つは必ず、とあってよい位に庚申塔が見つかりました。記録にも記憶にも残っていませんが、江戸時代の早川町域には庚申信仰の盛んな時期があったようです。

形は庚申待の本尊である青面金剛像を半肉彫りにしたものが三基、四角い石塔に「庚申」と刻銘したものと三猿の部分だけ残っているものが各一基です。他にも地元の方が「庚申さま」と呼んでいる聖観音像が一基、「奉勸請南無帝釈天王」と彫ったものが一基ありました。聖観音も帝釈天も庚申待ちの本尊になぞらえられるので、これも庚申塔に含めてよいでしょう。雨畑地区にもあるそうですが、今回は見られませんでした。

2 庚申塔

こうしんとう



塩之上集落にある寛延3年(1750)の庚申塔。蓮の花を持った聖観音の姿が刻まれている。

3 大遠忌塔

だいおんきとら

日本の仏教各派では、宗派を開いた高祖や中興の祖に対して没後五〇年を区切って遠忌という法会を行います。各寺院でも開山などに対する遠忌を行います。高祖の遠忌は宗派全体に関わる大きな法会になります。

日蓮宗では昭和五六年（一九八二）に日蓮聖人（一一二二〜一一八二）の七百遠忌が行なわれました。早川町内には日蓮宗寺院が多く、遠忌を記念して建てた塔が沢山残っています。早川町のどこに行ってもほぼ共通してみられる石造物です。数も多いので、早



早川集落の真妙寺の遠忌塔群。年代の異なるものが並んでいる。

川町を代表する石造物と言ってもよいでしょう。

早川町域で日蓮大遠忌塔が建てられ始めるのは、天明元年（一七八二）の五百遠忌からです。それ以前に遡るものは今のところ見つかっていません。面白いのは、五百遠忌の塔は早川集落を除いて大体四角い切石を使った石塔なのですが、天保二年（一八三二）の五百五十遠忌には、どの地区も自然な石の形を活かした塔を建てていることです。この間の人々の、石造物に対する感覚の変化を反映しているのでしょう。

日蓮宗以外の宗派も、こうした遠忌にまつわる造塔を行っています。黒桂集落に真言宗の高祖・空海（弘法大師、七七四〜八三五）の千歳忌を記念した「大師供養塔」があります。天保五年（一八三四）に建てられました。



自然石型の五百遠忌塔（早川集落・真妙寺）



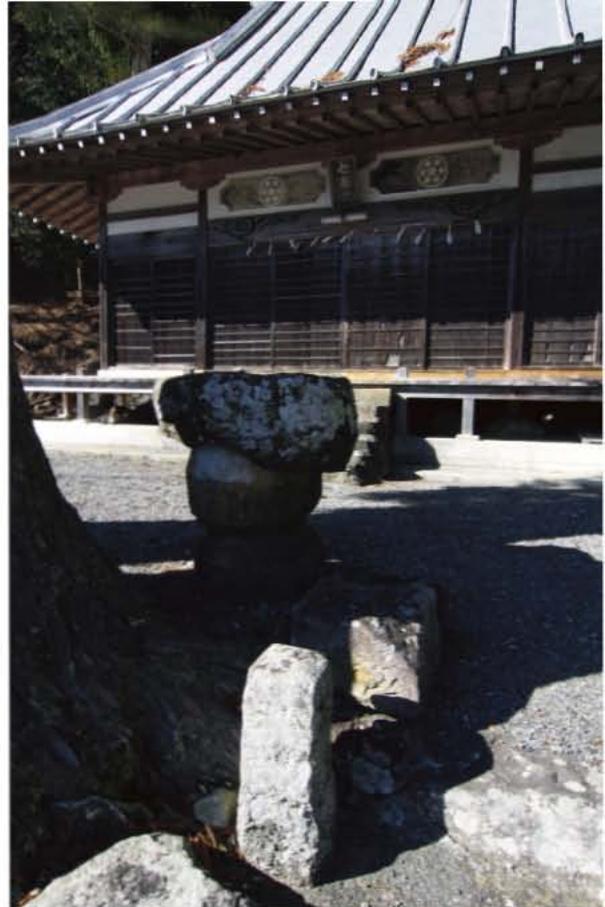
自然石の形を活かした遠忌塔。左から葉袋集落・円立寺の五百五十遠忌塔、塩之上集落・塩上寺の五百五十遠忌塔、黒桂集落の弘法大師千歳忌塔。



切石を使った遠忌塔。左から塩之上集落・塩上寺の五百遠忌塔、保集落・宝乗寺の五百遠忌塔、高住集落・常蔵寺の五百遠忌塔。



茂倉集落・妙蓮寺門前の遠忌塔群。手前の塔は六百遠忌（明治十四年）、その左は五百五十遠忌（天保二年）の塔。



茂倉集落の七面宮と石段。石段の袖石(写真左)には、文化9年の年号が刻まれている(点線の内側)。

4 その他の石造物

ここまで町全体を見渡すことで意味のわかるものを取りあげてきました。ここでは、数は少ないが一つ一つ大事な歴史を刻んだ石造物をみてみましょう。

茂倉七面宮の石段

茂倉地区の南に面した山裾に七面宮があります。拜殿に登る石段の左の袖石に、文化九年(一八二二)の銘文が刻まれていました。現在の七面宮は『早川町誌』で慶応元年(一八六五)建立とされています。袖石は、この場所がもっと古くからお堂の置かれる場所になっていたことを伝えています。



赤沢の道標

赤沢地区の江戸屋旅館の前に一群の小さな石塔があります。その中にある「向左七面口道」「右早川入口道」を指し示す道標は、赤沢青年同志会が建てたものです。明治末期の地方改良運動を受け各地で結成された青年団は、他地域の人への奉仕として道路整備や道標設置を行いました。赤沢地区でも若者が同志会を結成し、戦前のある時期に七面山参詣者のために建てたものでしょう。いまは昭和三九年開通の

町道の旁らに建っていますが、もとは旧往還のどこかにあったと思われるます。

今回は、早川町を広く見渡すことで何か見えてくることはないか、と考えながら取材しました。一つ一つ銘文をじっくりと読むことでわかることはまだ沢山ありますし、町には紹介しきれなかった大事な石造物がまだ沢山あります。また近年、いろいろな所で盗難や破壊を受ける石造物が増えているとも聞きます。これら石造物がこの先末長く町の財産として親しまれ、読み解かれ、伝えられていくことを心から望みます。



七面山参詣の基地であった赤沢集落の道標。「向左七面口道」と読める(写真右)。写真右は「赤沢青年同志会」と読み取れる。

●宝竜寺の三尊石

ただの丸石に見えるが、良く見ると梵字で阿弥陀三尊が彫られている。

●路傍の六地藏

草塩・京ヶ島への橋口にある六地藏。明治24年(1891)に建てられ、もう120年も道行く人々を見守っている。



●しばり地藏

京ヶ島常昌院の門前にある。願い事や探し物をするとき石仏を縄で縛って願をかける民俗は、塩之上や雨畑にも伝わっている。



●茂倉の辻の石仏群

国王神社の前の辻に置かれた石仏や石塔には、大日如来や二十三夜待塔など、他の地区ではあまり見られない種類の石造物がある。

5/27-29 早川バードウォッチングツアー
「憧れの夏鳥たちに出会う」

～早朝の森へ。日の出とともに鳴き始める夏鳥たちを探す～

アカショウビン、オオルリ、キビタキ、クロツグミ…。標高差のある早川町、多様な環境があるから出逢える様々な夏鳥をガイドおすすめの場所で観察します。

日時/5月27日(金)～29日(日)
対象/中学生以上
参加費/21,800円/1名(税込み)
宿泊代、プログラム費、食費(6食)、障害保険料が含まれます。

定員/14名
※5月23日までに要申込



6/4,5 ワイルドライフツアー
「モリアオガエルの不思議に迫る旅」

～モリアオガエルって知ってる?～

初夏の夜、樹上で泡に包まれた卵を産卵するモリアオガエル。その生態や生息環境、他の生きものとのつながりを探ります。貴重な産卵シーンの観察にも挑戦します。

日時/6月4日(土)、5日(日)
対象/小学生以上
参加費/11,800円/1名(税込み)
宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料が含まれます。

定員/14名
※6月1日までに要申込



宿泊場所は「光源の里温泉 ヘルシー美里」です。JR身延線「下部温泉駅」または高速バス「飯富停留所」からの送迎ができます。詳しくはお問合せください。早川サポーターズクラブ会員は、どちらも1割引で参加できます。

申込・お問い合わせ先は
「南アルプス生態邑/野鳥公園」
電話・FAX 0556-48-2288
e-mail yacho@hayakawa-eco.com
ツアーの詳細はこちら <http://www.hayakawa-eco.com/yacho/eventlodging.htm>

または
「南アルプス生態邑/ヘルシー美里」
電話 0556-48-2621 FAX 0556-48-2622
e-mail info@hayakawa-eco.com



「はやかわ創造空間 COCOROTO」企画展

4/2-24 「パート・ド・ヴェール技法で作る
小さなガラス達」

パート・ド・ヴェールとは、20世紀初頭にフランスで蘇ったローマ時代以前の古代ガラス技法。今回は、アクセサリ、ボタン、小さなカードスタンドの3種類の中から種類を選んで作るガラス体験教室です。熱い作業、危ない作業は一切ありません。小学生以上の方なら、どなたでもご参加頂けます。

内容/ガラス体験教室
日時/4月2日(土)～24日(日)
13:00～16:00の約3時間
定員/一日4名まで
※要予約(グループでお申し込みの場合は1週間前までにご予約下さい)
体験料/3,500円(体験後、講師が仕上げ加工をしてお送りします)



5月展示会は
「やませみ倶楽部/野鳥写真展」

昨年引き続き、やませみ倶楽部の皆さんによる、美しい野鳥達を写した力作の数々を展示致します。普段、じっくり見ることの出来ない鳥達の一瞬の姿が、写真を通してじっくりご覧頂けます。

写真展との同時開催として、野鳥公園の専門家が、皆さんに鳥達の事を色々教えてくれる企画もあります!



問い合わせ先「はやかわ創造空間 COCOROTO」
住所: 山梨県南巨摩郡早川町保 1525 (月曜、火曜定休)
電話: 0556-45-2770 E-Mail: cocoroto.cs@gmail.com

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬萊館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL: 0556-48-2211(代)/FAX: 0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館

日本秘湯を守る会々員

〒409-2701
山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話 0556-48-2711
www.nukuyu.com/shiranekan/ FAX 0556-48-2770

西山温泉 慶雲館

全館源泉掛け流しの宿

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 http://www.keiunkan.co.jp

地元密着の店

有限会社 スーパー岩田屋

山梨県南巨摩郡身延町飯富 1383 番地
TEL: 0556-42-2125 FAX: 0556-42-2299

〒400-0606
山梨県南巨摩郡富士川町十合 4249
電話 0556-27-0224
ファクシミリ 0556-27-0227

十合湯温泉
源氏の湯

日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル

望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792
TEL.0556-45-3016 FAX.0556-45-2661(工場)



Planet

地球のかけらともいえる天然石・貝殻・植物など自然物を使い、国内外に作品を発表する現代アート作家、小番今綺(こつがいきょうこ)氏がマチエール(素材)に雨畑硯の粉を使用し、独特の世界を表現しています。硯だけではなく、雨畑真石の新たな魅力を鑑賞されてはいかがでしょうか。

会場/雨畑硯の里 硯匠庵ギャラリー
期間/4月1日(金)～17日(日)
時間/9:00～17:00(最終日は15:00まで)
入館料/一般200円、中高大学生100円、小学生以下無料



問い合わせ先「硯匠庵」(火曜定休)
住所：山梨県南巨摩郡早川町雨畑 701 電話：0556-45-2210

ヴィラ雨畑
女性用露天風呂リニューアル！

女湯の露天風呂が改修工事が終わり、ご入浴いただけるようになりました！春の心地よい風を受けながら、きれいな夜空を眺めながら、露天風呂でゆっくりしてはいかがでしょうか。

<日帰り入浴>
営業時間/11:00～20:00(木曜定休)

問い合わせ先「ヴィラ雨畑」
住所：山梨県南巨摩郡早川町雨畑 699
電話：0556-45-2213



町営奈良田の里温泉浴槽がリニューアル！

温泉の内部が改装され、3月26日より営業を再開しました！ヒノキの浴槽も新しくなり、その香りも相まって癒しの雰囲気も一段と増えています。施設内にある食堂「こんぼうず」も営業を再開しています。

とろっとした温泉にゆっくり入って、おいしいものを食べれば、心も体も大満足間違いなし。



営業時間/9:00～19:00(水曜定休)
※12～3月は18:00まで

問い合わせ先「奈良田の里温泉」
住所：山梨県南巨摩郡早川町奈良田 486
電話：0556-48-2552

南アルプスふるさと活性化財団
麓の直売所&手づくりハム工房がオープン！

草塩集落にあったハム工場が移転し、保集落の財団直売所の隣に新設されました！窓が大きく、町の特産品であるハムなどを作っている様子が見えるようになっています。

また、手づくりハム工房に先立ち、昨年12月に麓の直売所もリニューアルオープン。カフェ「cerdar&deer cafe」も併設しており、コーヒーや軽食をお楽しみいただけます。土、日、祝日も開店していますので、週末に早川にお越しの際は、是非お立ち寄りください！



麓の直売所 営業時間/9:00～17:00

問い合わせ先「南アルプスふるさと活性化財団」
住所：山梨県南巨摩郡早川町早川町保 1236
電話：0556-45-2507

■第35回早川山菜まつり[中止]のお知らせ■

例年5月3日に開催している早川山菜まつりですが、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震における被災地の復興途上の為、今年は中止とさせていただきます。

なお、イベント予算の一部を被災地の復興に役立たせて頂きますので、ご理解・ご協力をお願い致します。

問い合わせ先 早川町役場振興課：電話 0556-45-2511



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/

霊峰七面山の登山口であなただの旅を支える

株式会社 俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社 俵屋旅館
宿泊 安全 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

パソコン、PCソフト、NTT 販売代理店、
プリンター、コピー機、OA サプライ

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川町砂利協同組合

代表 井上駿一郎
山梨県南巨摩郡身延町桑倉 761
電話 05566-2-5810

春の味覚といったらこれ！もちろん全て早川産！
「山菜の詰め合わせ」

春を告げる食べ物と言えば、そう、おいしい山菜ですよね。年に一度の山からの恵みです。早川の大自然が育んだ山菜の、香り高い風味を味わってください！

天ぷらや和え物、好きな料理でお楽しみください。栽培品で満足されなかった方や、早川の山菜をまだ食べた事が無い方は、ぜひ、この機会にご注文ください！！



内容 / 500g 以上 ※タラの芽・コゴミ・コシアブラ・ウド・ワラビ・ウコギ等の中から、時期に合ったもの 3~4 種類をお送りします。

価格 / 通常 2,000 円・会員 1,800 円 + 送料
発送 / 4 月下旬以降、注文順に発送
締切 / 4 月 25 日 (月)

※収穫量が気候や天候に左右されるため、全てのご注文に対応できない場合がございます。何卒お早めのご注文をお願い申し上げます。

早川産のデザート
「ポポアイスと雨畑茶の詰め合わせ」

早川町のアイスといったら、ポポアイスと雨畑茶アイス！！
幻の果物・ポポーの果肉を贅沢に使ったアイスは、バナナとマンゴーを足した味と香りが特徴。

霜が降りる土地柄、おいしいお茶が採れる雨畑地区産の茶粉を使ったのが雨畑茶アイス。お茶の香りや成分を逃さないよう加工をしているので、おいしく体にも良いアイスです。

この2つのアイスをぜひご賞味ください。



内容 / ポポアイス 3 個・雨畑茶アイス 3 個
計 6 個 (各 120ml)

価格 / 通常 1,800 円・会員 1,620 円 + 送料
発送 / 注文順に順次発送
※締切はありません。通年受付中です！

■ご注文・お問い合わせ先■

※会員とは、早川サポーターズクラブ、及び NPO 法人日本上流文化圏研究所の会員のことで。

NPO 法人 日本上流文化圏研究所 (やまだらけ編集部)

TEL. 0556-45-2160 (9:00~17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3 日経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

送料は、全ての商品の基本料金が、普通便 740 円で関西、中国、四国、九州、東北、北海道は +100 円~420 円かかります。

読者の声

●おかずみそのレシピ、嬉しかったです。早々、大豆みそ、ふきみそ、にんにくみそを作りました。便利ですね。保存食に最高！でも、ご飯を食べ過ぎちゃって太るかな。(藤枝市 K さん)

●イカの腹わたに、みそ、みりん、ねぎ、それにイカの足を刻んで入れて、ホイルの上に乗せて焼くとおいしいです。(浜松市 M さん)

編集部：おかず味噌、早速作ってみたという声を多数頂きました。ありがとうございます。取材以降、スタッフの各家庭でもヘビーローテーションです。イカのおかず味噌は、海のない早川町では生まれてこないレシピですね。全国的あちこちに地元の素材を使ったお

かず味噌があるようです。全国おかず味噌選手権なんてのも、面白いかもしれませんね。

●(やまだらけ編集部が入っている) 日本上流文化圏研究所が「地域再生大賞」の特別賞に選ばれたことを嬉しく思いました。(中略) これからも、ますますのご活躍を祈っております。(甲府市 N さん)

編集部：ありがとうございます。数名の方から同様のおハガキを頂きました。これも町内、町外から応援して下さいの皆様のおかげです。早川の良さをしっかり守りながら、早川をますます元気づけられるよう、引き続き精一杯がんばっていききたいと思います。今後ともご協力よろしくお願いたします！！

■NEXT やまだらけ

47 号特集 (6 月上旬お届け)

「大工の親子」

早川町柳島集落にある望月工務店。棟梁の望月敏彦は、町民からの信頼も厚く、町内各所の民家や寺社仏閣の修復、住宅建設などを手がける大工である。そんな父親を見て育った息子の尊文も、大工となり、父親とともに働き、技術を盗み、そして仕事を支えている。

次号では、建築という早川の文化を守るために日々奮闘する大工の姿、そして早川で育った若者の姿を追う。

文研出版おすすめの絵本！

長谷川集平 ぎゃくしゅう
トリゴラスの逆襲
「おとうちゃん、またや。トリゴラスや。びゅわんびゅわんと、トリゴラスがとびよる」「そやから、あれはただの風の音じゃ」…再び町に現れたトリゴラス。今度はだれを探しているのだろうか…。
■定価 1,365 円 (税込)
文研出版 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号
TEL (03) 3814-6277 FAX (03) 3814-2159
www.shinko-bunken.com

鉛筆の名作
「ハイユニ」
1ダース
¥1,764



文具の
月禾堂 TEL (0556) 22-0445

地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！
早邦建設株式会社
H21 湯川工用道路工事
【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
E-mail: soho@soho3000.com

やや駆け足でまわってみた感じになり、一つ一つじっくりと見て意味を考えるまでには至りませんでした。それにあまり関心を寄せられにくそうな石造物が対象になったので、物足りなく感じられたかもしれません。でも意外と面白い声が聞こえたと思います。



発行元 / フィールドミュージアム運営委員会
住所 / 山梨県南巨摩郡早川町葉袋 430 〒409-2727
電話 / 0556-45-2160 ファクシミリ / 0556-45-2268
ホームページ / <http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/fm/>